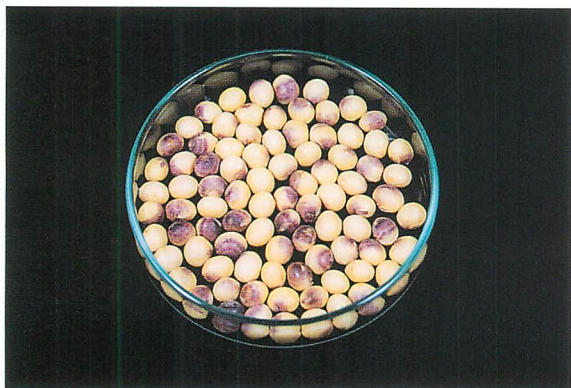


ダイズ紫斑病菌のチオファネートメチル剤耐性とその防除対策

(向島博行氏原図, 本文1ページ)



①明瞭な紫色の病斑を形成した紫斑粒



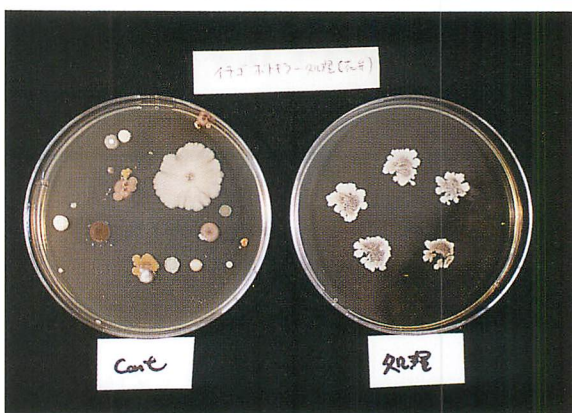
②耐性菌検定：PDA培地，26℃，置床4日目
(上左：TM無添加，上右：TM6.25μg/ml，下左：TM100μg/ml，
下右：TM1600μg/ml) TM：チオファネートメチル

Bacillus subtilis 剤による果菜類灰色かび病防除のための伝達手段

(田口義広氏原図, 本文6ページ)



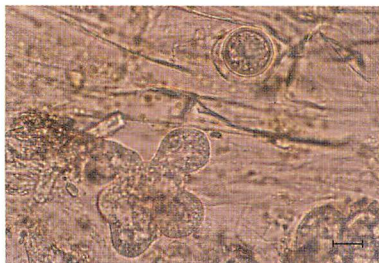
①ダクト散布したキュウリ花弁をべた置きして発生した *Bacillus subtilis* IK-1080



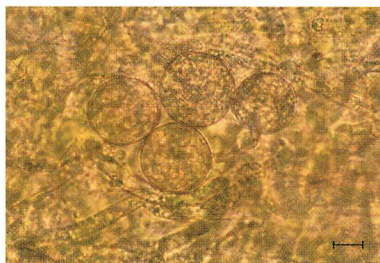
② *B. subtilis* IK-1080 のダクト散布前と後のイチゴ花弁から発生した細菌

土壌病害の見分け方：(11)ピシウム菌による病害

(東條元昭氏原図, 本文24ページ)



① *Pythium aphanidermatum* トマト感染根内部に形成された嚢胞器と遊走子のう。スケールは10μm



② *P. ultimum* キュウリ根内部に形成された hyphal swellings。スケールは10μm



③ *P. graminicola* シバ感染根内部に形成された遊走子のう。スケールは10μm